2019年（令和元年）7月（1）

おたる 西別院だより

季刊 第129号

小樽公園からの写真

お盆参り	8月5日(月)より12日(月)の間でお盆参りに伺います。 (あらかじめハガキにて、参詣日をお知らせいたします。)
納骨堂の読経	8月13日(火)より16日(金)の間は朝8時頃から 夕方6時頃まで納骨堂での読経を承ります。
秋季彼岸会	9月21日(土)～23日(月)　13:30
若竹説教所報恩講	9月1日(日)　14:00

8月5日(月)より17日(土)まで月忌参詣および法事を
お休みさせていただきますので、どうぞお寺にお参りください

小樽別院ホームページ　http://www.otaru-betsuin.com/

お盆によせて

小樽別院　参勤　櫻井　法道

今年も「お盆」を迎える季節になりました。「お盆」は正式には「盂蘭盆会」と言います。この名称は、「盂蘭盆経」というお経が由来であるとされています。「うらぼん」は日本語では聞きなれない響きですが、印度の古い言語「サンスクリット語」で「逆さ吊りの苦しみ」を意味する「ウラバンナ」からきているといわれています。

このお経のもととなるエピソードがあります。仏教の開祖であるお釈迦さまの十人の有名なお弟子の一人である目連尊者は「神通力第一」といわれていました。目連尊者は神通力で亡き母が地獄で逆さ吊りの苦しみを受けていることを知ります。なんとかして母を救済できないかと思い、お釈迦さまに教えを乞いました。そこでお釈迦さまは「旧暦の七月十五日（現在の八月中旬ごろ）に、インドでは雨季にあたり、水を求めて多くのいのちが地中から這い出して来るため無駄な「殺生」をしないよう、僧侶方が、ひとところに集まり「安居」という「勉強会」をしていました。その僧侶方に「食事等を施せば、苦しみから救えるでしょう」と伝えられます。目連尊者はその通りに実践したところ、母親が無事往生することができた、というものです。お母さんが救われた喜びを全身で表したのが「盆踊り」の由来と言われています。私を育てるために母親が、我が子の為にと「罪」を知らず知らず作ってきたことへの目連尊者の「慚愧」の念は、私たちにとっても決して他人ごとではありません。

私の「いのち」の存在は父母無しではありえないことです。私の祖先を十代遡ると千二十四名もの誰一人として欠けることがなかったことによって私が存在しているといいます。皆さんは「着物」を織る「織機」をご覧になれたことがあると思いますが、縦糸が上から下へ張られているところへ、横糸を紡いで彩が紡がれていきます。着物が織りあがった時には、縦糸の存在は見えなくなってしまいますが、見えないだけでしっかりと支えているのです。仏教では着物の「縦糸」を「経」（お経）と言います。時代を貫き伝えられてきた「縦糸」です。「浄土真宗」の教え「経」は、「死ぬべき人生を生きている」のではなく「阿弥陀さま」によって建立された「浄土」（ひかりといのちの限りない世界）から、帰るべきいのちの故郷はここであるぞと呼び続けて下さっている阿弥陀仏の呼び声に耳を傾けさせていただき「聴聞」、安心してこの人生を歩ませていただくことです。

昨今浄土というと何か夢物語のような世界を思いがちですが、浄土とは阿弥陀仏が願いを持って建立された私たちのいのちの故郷であります。

「歎異抄」第十四章に『一生のあいだもうすところの念仏は、みなことごとく、如来大悲の恩を報じ徳を謝すとおもうべきなり』とあります（一生のあいだに、称える念仏は、すべてみな、如来大悲のご恩への感謝の表れであると思うべきである）。

毎日毎日、私たちは、さまざまなことに、振り回されていますが、それをいちばん根っこのところで支え、私が私として、生きることを成り立たせてくれている、大きないのちの働きがあるのです。この大いなる如来の大悲の中に、私が生かされていることに目覚めたとき、初めて、報恩感謝の生活が開けてくるのではないでしょうか。そのことに気づかされるときに、私たちは本当に大切な教えに遇うことができたといえるでしょう。

ぜひ慌ただしい日々の中にあって、「お盆」を機会に仏事に参加し、自らのいのちの行く末について、しっかり向き合うことのできる人生の時を持ちたいものであります。

お盆のお知らせ

● **ご参拝について**

午前六時頃～午後六時くらいまでにご参拝ください。

※駐車場には限りがございますので、公共機関をご利用されることをお勧め致します。

● **お盆期間中の納骨堂での読経について**

八月五日(月)～八月十二日(月)は一～二名の僧侶が待機しています。

※混み合うと二十分以上お待ちいただくことがございます。

八月十三日(火)～八月十六日(金)は四～五名の僧侶が待機しています。

八月十七日(土)は一～二名の僧侶が待機しています。

※葬儀などで待機人数が変わり、それに伴い読経が遅れることがございます。ご了承ください。

● **納骨堂読経中止時間（本堂での法要のため）**

八月十五日(木)
午後一時～二時十五分
（本堂での法要のため）

八月十六日(金)
午前十時四十五分～正午
午後一時～二時十五分

納骨堂のお供物は八月十六日(金)に下げさせていただきます。なるべくお持ち帰りください。

ご法要のご案内

● **盂蘭盆会**

日　時：八月十五日～十六日
　　十三時半より
場　所：本堂
御法話：**大阪府　明教寺　茑田　誓子師**

● **初盆法要**

日　時：八月十六日　十一時より
場　所：本堂
御法話：**大阪府　明教寺　茑田　誓子師**

● **若竹説教所報恩講**

日　時：九月一日
　　物故者追悼法要　十二時半
　　報恩講　十四時
場　所：若竹説教所
御法話：**輪番　芝原　文雄師**

● **納骨堂総追悼法要**

日　時：九月二十日　十三時半より
場　所：本堂
御法話：**北海道　永江　智明師**

● **秋季彼岸会**

日　時：九月二十一日～二十三日
　　十三時半より
場　所：本堂
御法話：**北海道　永江　智明師**

降誕会写真

多くのご参拝ありがとうございます

拝聴 常例布教

◆場所 小樽別院内
◆時間 14時～15時半

期間中、全国各地から来院される布教使の方より、浄土真宗のお話を聞かせていただきます。知っているようで知らない仏さまのお話を、ご聴聞いたしましょう。

※布教使が変更になる場合がございます。ご了承ください。

7月

7～11日 **山下 恭司 師** 熊本教区 天草上組 観乗寺

13～16日 **千葉 恒乗 師** 四州教区 徳島西 安樂寺

8月

7～11日 **森岡 恵隆 師** 安芸教区 沼田組 法隆寺

13～16日 **葭田 誓子 師** 大阪教区 島中南組 明教寺

9月

7～11日 **那須 智雄 師** 備後教区 沼隈西組 大東坊

13～16日 **石田 智秀 師** 北海道教区 十勝組 妙法寺

仏教婦人会

7月の予定

7月7日 体操教室
■時間 10時30分 ■場所 別院ホール
南部支援包括センターのご講師が指導いたします。

7月7日 結いの会（コーラス）
■時間 13時 ■場所 別院ホール

7月15日 結いの会（コーラス）
■時間 12時30分 ■場所 別院ホール

7月22日（予定） 親睦会
今年の親睦会は増毛方面へ。日帰りの旅行になります。北海道の快適な夏を味わいながら、みなさんで楽しい旅行を企画しています。意外と増毛方面は行ったことがないのでは…？会員のみなさん、ご参加お待ちしています。

会員募集

仏教婦人会の会員募集しています。仏教の基礎知識を学ぶこと以外にも、体操や料理教室を実施し日々の生活に役立つ学習を行っています。お気軽におたずねください。

年会費 一〇〇〇円

担当：西村

その他の教化団体も随時会員募集しています。ご自身の都合のいい時間にあわせて、ご参加ください。

会員募集中 会 たのしむ

仏教婦人会
場所／別院ホール 日時／毎月7日 13:00 15日 11:00
※時間は年間予定に沿って変更します 担当者：西村

仏教壮年会
場所／3階会議室 日時／毎月6日 18:00～19:00
担当者：森・（岡﨑）

彰心会
場所／若竹説教所 日時／毎月7日 18:30～
担当者：村田

無量講
場所／浄縁塔仏間 日時／毎月9日 18:00～
担当者：磯村

日曜仏教講座
場所／3階会議室 日時／第3日曜日 9:30～10:30
配布テキストにて進行 担当者：櫻井

仏教がやがや会
場所／3階会議室 日時／毎月15日 19:00～20:30
布教使の方よりご法話を聞かせていただきます 担当者：西村

樹心会唯信講
場所／奥沢説教所 日時／毎月10日 正午
担当者：西村

法友会
場所／新光説教所 日時／毎月13日 18:00～
担当者：森

十九日講
場所／別院ホール 日時／毎月19日 11:30～13:30
法話を聞いて一緒にお昼ご飯をいただきます 担当者：森

おつとめ教室
場所／3階会議室 日時／毎月1～2回火曜日 14:00～15:30
おつとめミニ知識満載です 担当者：磯村

お茶サークル
場所／浄縁塔お茶室 日時／毎月第1・3月曜日 10:00～15:00
お越しの方には、お抹茶を振る舞います 担当者：西村

第5回 北海道開教御寺院 法悦の旅

2019年5月30日(木)～31日(金) 35名で行ってきました!!

5月30日から1泊2日で道南の地、35名の御門徒の皆様と函館へ行ってまいりました。前回、函館へ行ったのは平成26年でしたので（帯広・函館・札幌の順に旅行企画していますが、京都への団体参拝が2回はいったため）5年ぶりの訪問になります。

初日は、小樽では雲空でしたが、函館へ向かうごとに「快晴」へと変わっていきました。道中、八雲のハーベスタで昼食をとり、七飯の道の駅に立ち寄りました。そして今回は浄土真宗の御寺院以外も参拝させていただきました。道内で最古の歴史をもつ「高龍寺」様です。長い歴史を感じさせる山門をくぐり抜け、職員の方に堂内を一つ一つ丁寧に案内をしていただきました。ちなみに、我々が参拝する数日前に笑福亭鶴瓶さんがロケで来られていたそうです。私はうっかり放送を見るのを忘れていました…。

圧巻だったのは函館山頂上からの景色でした。夜景がイメージされますが、日中の景色も格別です。快晴だったため絵ハガキにある風景が眼前に広がっていました。

ホテルでは宴会で一日の疲れを癒していただきながら、参加者一同の親睦を深めました。ご自慢の歌をご披露いただいた皆様、宴会に花を添えていただいてありがとうございました。

翌日の31日は函館別院様に参拝させていただき、その後は赤レンガ倉庫で自由散策です。人力車を体験された方もいらっしゃいましたね。皆さん短い時間の中、お楽しみいただけたのではないでしょうか。帰りの道中、新函館北斗駅に立ち寄り新幹線の発車も見てきました。

広大な北海道の大地を先人の方々のご尽力のおかげにより、お念仏もろとも現代につなげていただけたと改めて感じさせていただけた旅行であったと思います。来年も法悦の旅へのご参加お待ちしています。

（職員　西村）

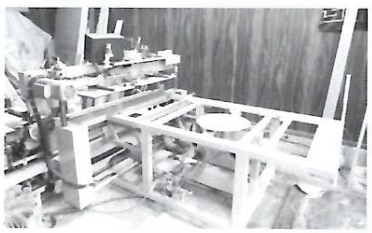
ご門徒さんを訪ねて

中川畳店　代表　中川（なかがわ）善史（よしふみ）さん

昨年の１２４号から復活企画として掲載しています「御門徒を訪ねて」ですが、今回は龍宮神社下にある中川畳店さんに伺いました。

中川畳店は創業大正４年ということで、今年で１０４年を迎えられます。代表の善史さんは３代目ということです。創業者になる祖父の善次郎さんは職人を育てながら市議会議員も務められたそうです。２代目の父、昭次郎さんは職人気質の方で、畳の需要も多かった時代でもあったため、いつも忙しくされていたそうです。平成24年に昭次郎さんが亡くなられ、３代目として家業を継がれています。ご近所の町並みはご自身の小さいころから、さほど変わってはいないそうです。

さて、畳屋さんの仕事の流れですが、現場で畳を回収し店で作業を行います。作業の内容は、両端のへりを切り、古い表（ゴザ）をはがし、新しい表を敷く。框（カマチ）を縫ってへりを縫い込むという流れが一枚の畳にかける作業だそうです。大体、１部屋に６枚ぐらいですから、時間もかかるかと思い伺ってみますと、今は機械の発達に伴い作業時間は30分ぐらいだそうです。２代目の時代は50分ぐらい。創業者の時代には手縫いなので１時間20分ぐらいはかかったようです。また、畳の材質も藁床からスタイロフォームに変わったため、重さも４分の一程度になり作業後の処分なども含めて、昔に比べると作業効率は楽になったそうです。



また、畳１枚の大きさは部屋の大きさによって異なるので、寸法を測って作業されるそうです。てっきり畳のサイズはどれも一緒と思っていましたので、意外な事実でした。昔は３～４年ごとに畳のメンテナンスをする家庭が多かったようですが、最近は使い切るように10年ぐらいで畳を取りかえるケースが増えているそうです。善史さんによると、「畳の藺草の匂いは安らぎを与え安眠効果があるので、傷みがひどくなって取り替えるよりもメンテナンスをして使っていただけることをお勧めします」とのことでした。見積もりは無料ですのでお気軽にお尋ねください。ちなみに、簡単な大工作業もできるので、サービスで床板の補修もされているそうです。

いろいろとお話を伺わせていただく中、終始笑顔で応対していただきました。畳文化から遠ざかりつつある若い世代の方にも、安心して相談できる中川畳店３代目の中川善史さんでした。お忙しい中、ありがとうございました。

畳工事専門
【創業 大正４年 信頼と実績】
中川畳店
住　　所：小樽市稲穂3丁目13-12
TEL･FAX：0134-22-3967
携　　帯：090-2075-3840

朝に礼拝 夕に感謝®
伝統工芸 京仏壇・京仏具
創業天保元年
www.wakabayashi.co.jp
株式会社 若林佛具製作所
札幌店 064-0919 札幌市中央区南19条西9丁目
TEL011-512-3455 FAX011-512-3488
ー京都本店・築地店・東京支社・仙台店・福岡(営)ー
楽天市場「お仏壇ショップ」
http://www.rakuten.co.jp/kyo-butsudan

住宅設備工事店
ホーム設備サービス
●増改築工事　●流し回り、風呂廻り改修
●給湯器取付取替　●配管取替
●ストーブ取付取替　●暖房ボイラー取付取替
その他取替取付ご相談に応じます
小樽市住吉町１５番８号
TEL・FAX　0134-22-6966

学校卒業アルバム等制作
証明写真（パスポート、各種免許）
発表会、イベントなどの各種出張撮影
写真・画像修整加工
デジカメプリント・DPE受付
写真のたかはし
〒047-0034 小樽市緑1丁目5番5号
TEL/FAX（0134）22-8959

広告募集
「おたる西別院だより」に掲載してくださる商店や業者等を募集しております。
詳しくは 0134-22-0744 別院だより担当者:西村までご連絡ください。

小樽別院から「お願いとお知らせ」

1、登録代表者について

小樽別院に登録されている代表者の方の連絡先が不明になっているご家庭が増えてきております。

左記の場合には必要書類にご記入いただきご提出いただきます。

1 登録代表者または納骨堂管理者の転居

2 登録代表者または納骨堂管理者が変更

※ご印鑑や印鑑登録証明書・戸籍謄本・ご本人の署名が必要となる場合がございます。

2、仏事の申し込みについて

お納骨やご法事をされる場合は左記に事前にご連絡をいただきますようお願い申しあげます。

1 日時

※お盆・お彼岸等別院行事のある場合は、ご希望の日時で承れないことがございます。

2 場所

※別院内をご利用の場合はお部屋代一万円別途お願い申しあげます。

以上については事前にお電話にてご連絡いただきますようお願い申しあげます。

別院門徒物故者

（令和元年五月末現在）

[redacted]

通夜・葬儀の御案内

小樽別院会館ホールにて通夜・葬儀会場として使用できます。亡き方がくださった大切なご縁をぜひ菩提寺にて。

詳細につきましては寺務所までお問い合わせください。

（写真は会館ホール）〈50名～200名〉

▶小会場もございます〈20名程度〉

（写真は浄縁塔仏間）

編集委員募集

小樽別院だよりに携わってくださる方を募集しています。年齢・性別問いませんので、
よりよい別院だよりを作るのにご協力いただける方、ぜひお手伝いください。
担当は職員の西村です。お寺の寺務所にご連絡ください。

テレホン法話

●テレホン法話担当表

7/ 1(月)～7/15(月)	磯村
7/16(火)～7/31(水)	村田
8/ 1(木)～8/15(木)	輪番
8/16(金)～8/31(土)	
9/ 1(日)～9/15(日)	西村
9/16(月)～9/30(月)	森

TEL 27-1616

編集後記

親鸞聖人のご和讃を少し引用させていただき「安楽浄土にいたる人と逢えて語れる盆詣り」誰もが佛前で必ず合掌礼拝をいたしますが、どの方の合掌礼拝も姿・形は異なっても皆さん実に美しい。

合掌礼拝の美しさは老若男女の差は全くなく総べて美しい。どんな悪人でも手を合わせる姿を見ると、ふと善人かな？と見誤ってしまう程である。合掌礼拝の姿はこの世で最も美しいと心から思う。

その所作は佛様が授けてくれたものであろうか？

お盆の間は美を具足した人達でお寺は賑やかになるでしょう。

（平田）

連絡先
本願寺小樽別院
小樽市若松1丁目4番17号
☎0134-22-0744
FAX 0134-29-4080

編集委員
門徒委員
平田 晴己
竹澤 知恭
福川ヨシ子
別院担当者
西村 玄介

2019
小樽双葉高等学校
学校説明会

7月20日(土)10:00~

<内容>

- コース紹介(特進・進学)
- 部活動紹介
- 行事紹介
- 入試、諸費用・奨学金について
- 双葉の授業を体験
- 探究型学習 『ドリプロ』体験
- 部活動体験

小樽双葉高校を体験しよう！

個別相談もできます!
いろいろなことを相談してみよう！
※申込みはホームページの申し込みフォームまたはお電話で。

野球部全道大会出場!!

5月15日、本校野球部は、春季北海道高等学校野球大会小樽支部予選の決勝に出場、強豪校のいる小樽支部で見事に優勝を果たしました。

5月29日に札幌円山球場で行われた全道大会１回戦では、優勝した駒大苫小牧高校に惜しくも３－４で敗れましたが、すばらしいプレーが随所に見られる好ゲームでした。

全校生徒・教職員が球場で応援したほか、保護者、OG・OB、講師の先生、本校で教鞭をとっていただいていた先生など、本校に縁のある多くの方方が応援に駆けつけてくださいました。ありがとうございました。

これからの野球部の活躍目が離せません。

進学・就職で実績!!

今春、日頃の努力が実り、本校初の東京大学合格者が出るなど、進学や就職ですばらしい実績が出ました。その一部を紹介します。

合格実績(今春)

- 東京大学
- 北海道大学
- 小樽商科大学
- 室蘭工業大学
- 北見工業大学
- 札幌市立大学
- 名寄市立大学
- 早稲田大学
- 中央大学
- 武蔵野大学
- 千歳科学技術大学
- 北海学園大学
- 北星学園大学
- 小樽市立高等看護学院

など

就　職(今春)

- 小樽消防
- 北海道警察
- 東京消防庁
- 自衛隊
- オタル製菓
- 新日本海フェリー

など

来年度から1人1台タブレット使用

来年度から生徒1人に1台タブレットを使用します。調べ学習や学び直し、弱点克服等に活用していきます。

今後のイベント⇒　学校説明会 10/12　個別相談会　10/19・26，11/2・9・16・30，12/7・14

お気軽にお問い合わせください

学校法人　北海道龍谷学園
小樽双葉高等学校
〒047-0014 小樽市住ノ江１丁目3-17
TEL 0134-32-7342　FAX 0134-22-3098

快適なアクセス!

JR札幌駅から快速で３０分
JR余市駅から３０分
JR南小樽駅から徒歩２分
バス停 住吉神社前から徒歩３分

双葉高校の詳しい情報は
ホームページをチェック！

小樽双葉高校　検索

www.r-futaba.ed.jp

発行者 本願寺小樽別院